

平成 25 年第 12 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 25 年 12 月 25 日（水） 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 16 時 00 分
3. 開催場所 加西市役所 5 階大会議室
4. 出席委員 委 員 長 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
委 員 荒 木 貴 子
委 員 市 場 かおり
教 育 長 松 本 直 行

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	後 藤 倫 明
教育総務課長	中 倉 建 男
学校教育課長	小 林 剛
こども未来課主幹	伊 藤 勝
文化スポーツ課長	深 江 克 尚
図書館長	柴 田 健 壱
総合教育センター所長	柿 本 博 司
教育総務課課長補佐	高 井 聡 子

6. 付議事項

議案第 47 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 47 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

議案第 47 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について、教育総務課長より、加西市学校給食センターの設置及び運営に関する条例第 5 条第 3 項の規定により、次の者に加西市学校給食運営審議会委員を委嘱したいので、委員会の議決を求めるものであると説明する。北部学校給食センター開設に伴い構成委員を変更するものであり、単独調理場 3 校のうち 1 校の委員を加えるものである。1 号委員は、北条小学校の大西司校長で、任期は平成 26 年

1月1日から3月31日までの残任期間とし、4号委員は、北条小学校の朝倉剛PTA会長で、任期は平成26年1月1日から4月30日までとして委嘱するものであると説明する。また、定数が10名であるため、富合小学校校長及び富合小学校PTA会長と入れ替わるもので、今後は行政順に毎年交代をする計画であると説明する。

以上をもって、原案のとおり承認される。

9. 議決事項

議案第47号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長から

教育長より、12月の定例議会の概要について報告を行う。市教委関連の上程議案は3議案でありすべて可決された。1つ目の議案は、「加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」で、幼稚園入園料8,000円を6,000円に、保育料6,300円を5,000円に変更するという内容である。今までは北播4市で最も高い料金であったが、本条例により保護者の負担が軽減されると述べる。2つ目の議案は、「加西市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」で、公民館、体育施設の料金と減免措置を定めたものであると説明する。(詳細は担当より説明)3つ目の議案は、「平成25年度一般会計補正予算 民生費 病児・病後児保育事業補助金」である。従来は、富田保育所で病後児の保育を行っていたが、来年4月より、「さかいこどもクリニック」で病児・病後児の保育を行うものであり、市からの補助金が認められた旨を報告する。そして、広く広報し、安心して子どもを預け、仕事に励める環境づくりに寄与したいと述べる。

一般質問においては、「市民の健康増進」(ぜんぼうグリーンパーク)「学校給食」「新教育都市かさいの実現」「新教育長としての抱負」「北部子育て学習センターの移転」「教育施設に関して耐震工事と今後の幼保の統合」「6年後の各小学校の人数を考慮した再編」「教育のあり方」「図書館の充実」「意欲を持って学べる教育環境」等の質問があったことを報告する。

まず、市民の健康増進の一つとして今後の「ぜんぼうグリーンパーク」については、スポーツ振興助成金の申し込みを行い、400mトラック、野球、サッカーに利用できるよう整備を検討している旨を説明する。

学校給食センターは、先日竣工式を終え、1月14日より配食を行う計画であり、試食会も予定している。また、給食費を3学期より全給食施設、同一金額とし、地産地消を進める。

食物アレルギー対策については、アレルギー疾患対策対応マニュアルに沿った対応を行うとともに、対応マニュアルに基づいた調査や面談をすすめている状況であると説明する。

全国に誇れる教育都市かさいの実現については、教育委員会は教育施設訪問、計画訪問、教育委員研修会等を通して実態把握及び教育課題についての理解を深め、意見交換を進めているが、教育委員会が教育行政の責任主体としての役割を果たすには、さらなる努力が必要である。市庁舎2階に設置される教育委員等の部屋を有効活用し、情報交換、意見交換に努めたいと報告する。次に、エアコン設置後の夏休み短縮と土曜授業の復活については、夏休みは、家族の絆をより一層深める機会であり、現時点では学校管理規則の改訂は考えていないが、有意義な生活が送れるよう学習・生活に係る有効的な環境づくりを推進する。

小学校における合同授業の実施については、より多くの人との交流の機会となり、豊かな人間形成につながるものである。自然学校等の行事による交流に加え、ネット回線を活用した合同授業のあり方を検討する。部活動の外部講師の活用については、県の事業で本年度は善防中に1名指導者を配置していただいている。県の事業の拡充を継続して要望するとともに、市でも専門的な指導力を有する外部指導者の確保を支援していきたいと説明する。

新教育長としての抱負については、「知・徳・体」の三つの面における子どもたちの願いに応える教育を、学校・家庭・地域が一緒になって進めたい。また、いじめについては、いじめはどの学校でもどの子どもにも起こりうることを認識し、教師はその兆候をいち早く把握し、迅速に対応しなければならないと説明する。そして、保護者との連携をさらに密にして解決を図ることを伝える。

北部子育て学習センターの移転に伴うオークタウンの改修については、担当から経緯と現在の状況を伝えると述べる。

教育施設については、現在、宇仁小学校、北部学校給食センターの改築は終了し、泉中学校・善防中学校の耐震工事及び外構改修工事、宇仁小学校外構改修工事を行っている。また、善防中学校体育館耐震補強工事、九会小学校南校舎・富合小学校北校舎耐震補強工事、富田小学校改築工事についての設計業務を行っている。さらに、小・中・特別支援学校の空調、太陽光発電、トイレの洋式化を来年3月完成をめざして進めていると説明する。

幼保の施設統合については、地域の方々と一緒に考えていくため中学校区単位で協議会を設置するとともに、11月28日、泉中学校区地域協議会を開催し、保育所、幼稚園、幼児園関係者、保護者、代表区長等で、1回目の話し合いを持ったことを報告する。

6年後の小学校の児童数については、全体で約19パーセント減となり、小学校では、2,295名から1,896名になる見込みである。この数字から見て、近い将来、再編を考える時期が来ているのではないかという意見も出された旨を報告する。

教師の役割（教師の資質）については、教師の職務は子どもたちの人生に大きな影響を与える職務であると自覚し、それを自らの人生の大きな使命として引き受ける決意を持つことが望まれる。授業改善へのたゆまぬ努力を続ける教師、子どもをつぶやきに耳を傾け、自らの子ども観を絶えず変革していこうとする教師を望みたいと述べる。

子どもが意欲をもって学べる教育環境については、耐震補強、改築、空調設備等の安全安心な教育環境の整備とともに、効果的な指導を行っていくための教材・教具、ICT教育を推進していくための情報機器等の整備を進めていきたいと述べる。

以上、定例議会の概要について報告する。

次に、12月の総務委員会について、3つの議案について全会一致で承認されたと報告する。また、保育料について、幼稚園の長時間部についても値下げを適用してほしいとの要望があった旨を報告する。

最後に、12月22日に兵庫教育大学主催の全国市区町村教育長セミナーに参加したことを報告する。北海道の美瑛町長、浜田哲氏、放送大学教授、小川正人氏による講話、及び講義、演習があり、多くのことを学んだ旨を説明する。

教育委員より、富田保育所の病後児保育の利用状況について質問があり、年間延べ20人程度であると回答する。

また、さかいこどもクリニックの病児・病後児保育事業の設置内容について質問があり、月曜日から金曜日は午前8時30分から午後6時、土曜日は午前8時30分から午後0時30分まで開設する予定で、病児、病後児の保育を行うと回答する。酒井先生は、できるだけ広い範囲のニーズに応えたい、また、来年4月の開設を考えておられると説明する。

そして、病児・病後児保育は、市内外で多くのニーズがあると考えられ、市も補助を行いニーズに応えられる体制を整えられるよう支援していきたいと述べる。さかいこどもクリニックは、アステアかさいの2階であると説明する。

(2) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、加西市教育委員会事務局決裁規定の改正について、第5条第1項中の「教育長職務代行者」を「次長」に改めるものであると報告する。不在とは、出張のとき等をいい、市長部局では市長が不在の時は副市長が代理決裁をすることとなっており、市長部局と整合させ、教育長職務代行者を次長に改正するものであると説明する。

次に、教育施設耐震化事業等進捗状況について報告をする。宇仁小学校地震改築工事は、外構が一部残っているが建物は完成しており、屋外環境整備工事は、解体が残っている。(仮称)北条学校給食センター建設工事については、完成している。泉中学校校舎耐震補強工事は、消防検査と内部の検査を年末に行い、1月8日に移転して3学期から使用する予定であり、外構工事は残っている。善防中学校北校舎耐震補強工事は、ほぼ完成しており、宇仁小学校太陽光発電設備工事は、完成している。富田小学校地震改築工事設計委託、九会・富合小学校校舎耐震化工事、善防中学校体育館耐震補強工事設計委託は、実施設計を進めている。

北条小学校体育屋根改修工事は、完成しており、富合小学校トイレ改修工事も85%の進捗である。学校施設空調・太陽光発電設備工事7件は準備工を行っており、宇仁小学校環境整備工事は、完了している。泉中学校外構改修工事と、善防中学校外構改修工事は、建物の完成度合に合わせ進んでいる。以上の状況であると報告する。

(3) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、12月13日に小学校の女性教諭が病気で亡くなられ、死亡退職となったことを報告する。12月16日に告别式が執り行われ、同日夕刻に県知事からの感謝状と市教育委員会からの感謝状を贈ったことを報告する。

次に、児童生徒の学習・生活について、12月24日に終業式が行われ、本日から1月7日まで冬季休業になると報告する。冬季休業中については、行事等が多々あり、家族とともに過ごす時間を有益に活用してほしいと啓発をしており、中学校3年生では進学を目前に健康面の注意を含め叱咤激励をしていると説明する。また、勤務時間の適正化についてはなかなか実現が図れていないが、教職員の有給休暇が12月末で処理されることもあり、冬季休業中に連続した有給休暇をとってもらいたいと確認したと述べる。

教育委員より、課題として英語を話す雰囲気を醸成していただきたいと要望がある。予算化してやる方法と、予算化せずに日ごろの活動や授業の中で行う方法があるが、着実に、英語の力をつけてやってほしいと述べる。学校教育課長より、加西市の外国語活動及び英語科教科指導という点では、昨年度から小学校1年生から4年生の年間10時間の外国語活動の実施、5・6年生では週1時間の年間35時間を確保していると説明する。英語力が育っているかについては、コミュニケーション能力の素地が出来つつあると考えられ、今後幼稚園等の外国語活動を実現できればと述べる。

教育委員より、教職員の有給休暇の消化率は低いのかとの質問があり、学校教育課長より、県教育委員会では年間10日程度の有給休暇を取得する計画を立てられるようにと推進しているが、教師の職務使命の観点から、授業を休むと子ども達の学力に影響をする恐れがあるために取りにくいという状況があると説明する。消化率については一般の企業より悪いと考えられ、冬季休業中に取得を促していると述べる。教育委員より、教職員の健康面でのサポート体制についても考えていただきたいと要望がある。

教育委員より、冬休みになり、小学生が自転車での危険な場面を多々見受けられるので注意いただきたいとの意見があり、学校教育課長より、道交法で自転車の左側通行となっており、グリーンゾーンについては自転車の通行も可能となっている等、現在確認を進めていると説明する。教育委員より、自転車と歩行者の事故もあり、注意を促してほしいと要望がある。

教育委員より、部活動後の徒歩中学生の子ども達は見えにくいときがあり、今後制服やウ

インドブレーカーの購入では反射光のあるものを選んだり、本人に意識を持たせることが必要であるとの意見があり、教育長より、各学校でウインドブレーカー等を選ぶときには反射板のついたものとし、また、相手から見にくいということ意識させたいと回答する。

(4) こども未来課主幹の報告

こども未来課主幹より、国の子ども・子育て支援法を受けて加西市においても加西市子ども・子育て会議が9月30日に立ち上がったところであり、今回は、会議以後今日までの状況を報告する。10月末に委員からアンケートの了解を得て、11月5日にアンケートを送付したもので、配布総数は2千通である。内訳は、小学校の子供がいる世帯が800世帯、就学前の子供がいる世帯が1200世帯で、兄弟の重複がないように送付し、11月22日を〆切としており、12月9日には礼状兼督促内容のはがきを送付した。12月25日現在で2千世帯のうち、1350通の回答をいただき、7割弱の回答結果となっている。次回、1月末の第2回子ども・子育て会議では、単純集計した設問の内容がまとまる予定であると報告する。

次に、宇仁郷まちづくり協議会の子育て支援センターの活動が、12月5日に文部科学大臣表彰を受けたと報告する。表彰式には子育て支援センターのセンター長が出席し、授与を受けた。子育て支援センターは、放課後の子ども達の学習見守りや、幼稚園での絵本の読み聞かせ、子育て中のお母さんの地域交流の場をつくるといった取組が評価され、地域で総合的に子育て支援を行っているということで受賞されたものであると説明する。

教育委員より、文部科学大臣表彰の選考や募集はどのように行われたのかとの質問があり、こども未来課主幹より、文部科学省から県を通じて、地域とともに学校づくりを推進している団体を教育委員会から推薦する機会があり、評価をいただいたものであると回答する。教育委員より、全国で何団体の表彰があったのかとの質問があり、こども未来課主幹より、全国で127団体が、兵庫県では3団体が表彰されたと回答する。

教育委員より、第1回子ども・子育て会議は何名参加されたのかとの質問があり、こども未来課主幹より、委員が15名おられ、全員が参加されたと回答する。教育委員より、議事録のA委員、B委員は同じ方か、他の方からの意見は無かったのかとの質問があり、こども未来課主幹より、A委員、B委員で2名の委員で、当日は事務局からの説明も多く、アンケートについての委員からの意見や質問は翌月の1ヶ月の期間でまとめていただいたと回答する。教育委員より、今後もこのような形かとの質問があり、こども未来課主幹より、次回以降はもう少し具体的になっていくと回答する。

教育長より、子ども・子育て会議は今後も続いていくものであり、2回目以降はもう少し早く教育委員会にも伝えるようにしたいと説明する。

(5) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、本会議並びに総務委員会の過程で、加西市公民館の設置及び管理運営に関する条例等の一部を改正する条例の制定についての内容について説明する。アクアス加西については、調整池の役割も果たすもので、暗渠施設も完備し、その水を芝用にポンプアップして使用していると説明し、大規模に土砂が流入した場合は市で対応することを説明した。アクアス加西は全面が1時間2,000円、アラジンスタジアムの多目的グラウンドはフットサルコート4面の全面が1時間3,800円となるが、加西市の健康増進の意味からもう少し適正な価格にという話があり、加西市体育協会、スポーツクラブ21、スポーツ少年団、加西市老人クラブ連合会に加盟している団体については無料としていると説明する。またアクアス加西では、その団体に加え、市内の自治会やまちづくり団体が使用する場合についての減免する規則の制定を進めていると報告する。

次に、北部子育て学習センターの移転にかかるオークタウンの改修工事について、12月13日に工事の入札を行ったが、不調となったと報告する。理由は、建築需要が多いことが考えられ、1月10日に再度入札を行い、年度内の完了を目指していると説明する。北部子育て学習センターの事業は北部公民館で実施し、貸館事業は1月14日から3月14日までは工事期間として貸出しができないとホームページに掲示している。また、オークタウンの改修内容について、進入路のカーブミラーや車いす用スロープの危険箇所について指摘があり、対応していきたいと説明する

続いて、法華山一乗寺三重塔他4棟防災施設改修工事について報告をする。3か年計画の2年目の取組であり、宗教法人一乗寺が工事主体で、国県市が補助を行っていくものである。平成23年の水害により、貯水槽に水がたまらない状態であるため、消火ポンプ室、消火水槽他の消火設備を整備し、住職が操作盤により監視カメラを活用しながら操作して火災に対応して国宝を守っていくといったものである。先日入札も終え、大手業者が落札し、総事業費は205,946千円で国が70%、県と市と一乗寺が10%ずつ負担すると説明する。

さらに、玉丘史跡公園の遊具エリアの名前募集について説明する。遊具選定にあたっての選考に関われなかった小学生を対象に名前の募集を行い、応募用紙を配布しており、1月中旬に決定する予定であると説明する。

最後に、成人式が1月12日に市民会館で行われると報告する。実行委員会をつくって、福祉施設の善防園や希望の郷、さくらの家と協力して、さおり織やカルボナーラパンを販売したり、オープニングでファンファーレを演奏すると説明する。

教育委員より、法華山一乗寺三重塔他4棟防災施設改修工事について、補助率は決まっているのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、事業額によって変更があるが、事業主の負担額が大きく変動しないような内容になっていると回答する。

教育長より、一乗寺の防災施設の改修、玉丘史跡公園の大型遊具、子育て学習センターに

ついて、近くを通られた折に見ていただき、いろいろな角度からご意見をいただき、施設運営に活かしていきたいと述べる。

(6) 図書館長の報告

図書館長より、加西市立図書館AVシステム更新業務について、プロポーザル方式で日東電機産業（株）に決定をしたと報告する。映像ブースを11ブース、CDブースを2ブースとして更新するもので、リースは平成26年3月1日に契約をする予定である。現在は集中管理型で職員が操作するものであるが、更新では、利用者が挿入して操作いただく形式とし、契約額は前回の半分程度となっていると説明する。

次に、加西市立図書館雑誌スポンサー制度について報告をする。予算が厳しい中で、何かの取組をと検討していたもので、図書館がアステアかさいの中にあることと集客力も期待されているという点から、企業や店舗に協力いただき、雑誌を充実させたいと考えたものである。スポンサーになっていただいた企業に1年間の雑誌購入費を負担いただくというもので、企業の社会貢献や、文化行政への協力をいただく。雑誌コーナーで陳列の間、カバーの表面に企業名を、裏側に全面広告をいれていただくもので、全国的にも取組がされているが、兵庫県では姫路市のみが採用していると説明する。

続いて、年末年始の休館等について、12月29日から1月4日まで休館をし、休館の措置として、貸出日数と冊数・本数を増やすと説明する。

教育委員より、加西市立図書館雑誌スポンサー制度事業実施要綱の第1条にある加西市広告掲載事業実施要綱が先にあって、図書館もこの制度を発案したとのことかとの質問があり、図書館長より、広報に広告掲載する等は取り組まれているが、図書館の雑誌広告は想定されていなかったため、行政課に協議して要綱の変更をしてもらっているところであると回答する。

教育委員より、要綱の11条に雑誌の所有権は図書館に帰属するという点について確認があり、図書館長より、寄附をいただくということで購入いただくことになると回答する。

教育委員より、数値目標はあるのかとの質問があり、図書館長より、姫路市に確認したところ、1社のみで3誌を購入いただいているとのことであるが、姫路市は分館が多くエリアが限られているためであると考えられるため、加西市では10社程度を目標にしたいと説明する。

教育委員より、雑誌の裏面を見るのかという意見があり、また、1か月のみはできるのかとの質問があり、図書館長より、事務が煩雑になるので、年度末までの1年間となるが、年度途中からも可能であると回答する。教育委員より、内容の制限はあるのかとの質問があり、図書館長より、要綱に合致するものとなると回答する。

教育委員より、3階の階段上にあるイベントを掲示してあるスペースにスポンサーが広告

を出す方が効果があるのではないかとの意見があり、文化スポーツ課長より、要綱を定めて広告を出すこととは意味合いが違うと回答する。

(7) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、総合教育センターホームページ（学習サイト）の更新について説明をする。学習サイトのバナーをクリックするとデジタル教材を紹介するサイトに入れるように更新をした。授業で使えるもの、自主的な学習に有効な動画やアニメを使ったもの等27サイトをセンターで精選し、情報発信している。今後アイパッドミニなどでワイファイをとおして使いやすいものを紹介し、充実をさせていきたいと説明する。

次に、兵庫県PTA中央大会・PTCA全県研究大会が12月1日に加西市民会館で開催されたと報告する。地元開催で、加西市PTAを中心に実行委員会を組織し、アトラクションからスタートし、開会行事、記念講演、実践発表を行った。県下より、PTAはじめ行政関係者、地域、連合OB等1,028名の参加があった。開会前のアトラクションでは北条小学校の児童による歴史ガイド隊と泉小学校の児童による石部神社祭り太鼓を披露し、記念講演では宇宙航空研究開発機構（JAXA）の第一衛星利用ミッション本部に勤務されている仁尾友美さんが講演をされた。仁尾さんは加西市出身で、宇宙開発の最先端の技術を構築されている話と、働く母としての視点からの話をいただき、参加者には興味の持てる内容であったと説明する。また、ホールで募金活動も同時に行い、東日本大震災に義援金として、63,189円を贈ることが出来たと報告する。

続いて、子ども情報誌発行について、12月から1月の期間中に各機関が開催するイベントについてまとめたものであると報告する。子ども達に様々な体験活動をとおして豊かな人間性、社会性を育成してもらうことを目的とし、ちらしは各学校園を通じて11月上旬に配布しており、また、図書館や公民館にもおいてもらっていると説明する。

最後に、1月1日にランドマーク展望台で新春のつどいを開催すると報告する。今年度は多目的グラウンドが工事中のため、アラジンスタジアムの西側広場を集合場所として、6時受付のちランドマーク展望台に登山をし、下山後に雑煮の接待やお年玉抽選会、書き初めを行う。書き初めについては、「あなたが選ぶ2014年の漢字」として加西市をこんな1年にしたいという願いを込めた1文字を小学生、中学生に応募をいただいております、当日、選ばれた漢字1文字を会長が毛筆で書くというものであると説明する。

教育委員より、ホームページの学習サイトについて、今後、これを使い、各学校で無理のない程度で活用して運用してほしいことを教頭会等で依頼し、また、自由に意見を出す場を作って情報共有し活用して行ってほしいと要望がある。

教育委員より、あなたが選ぶ2014年の漢字は、みんなの前で発表するののかとの質問があり、総合教育センター所長より、パネルを用意してみんなの前で披露すると回答する。

教育委員より、漢字が選ばれた方はその場で披露するののかとの質問があり、総合教育センター所長より、その場で、氏名、学校名や選んだ思い等を紹介すると回答する。

教育委員より、応募が多いものから選ぶのではなく、理由等で選ぶのかとの質問があり、総合教育センター所長より、青連協の役員が中心になって選考すると回答する。

11. 協議事項

なし

12. 教育委員の提案

教育委員より、教育長が就任されてから、会合等で新鮮な反応があり、教育委員会に興味を持たれていると感じる。教育委員や他の人たちが話し合える場所ができることで、肩ひじ張らずに話し合いをしたいと意見がある。また、玉丘史跡公園に遊具ができることや、北部子育て学習センターがオークタウンに移転するなど良いことであるが、単発に考えず、中長期的にランドデザインの整備をすればよいのではないかと要望がある。

教育委員より、教育委員会のホームページについて、他市の知人に意見を聞いたところ、良い素材があるのに途中で投げ出すのではないかと、困っている人に手を差し伸べている感がみられないという感想であったと報告する。

教育委員より、インターネット社会でありホームページから情報を得るので、顔として改善できるところはしていけたらよいと意見がある。

13. 今後の予定について

・平成 26 年第 1 回定例教育委員会 1 月 22 日（水） 13:30～ 市役所 5 階大会議室

・平成 26 年第 2 回定例教育委員会 2 月 21 日（金） 13:30～ 市役所 5 階大会議室

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 25 年 12 月 25 日

出席委員

(出席委員署名)